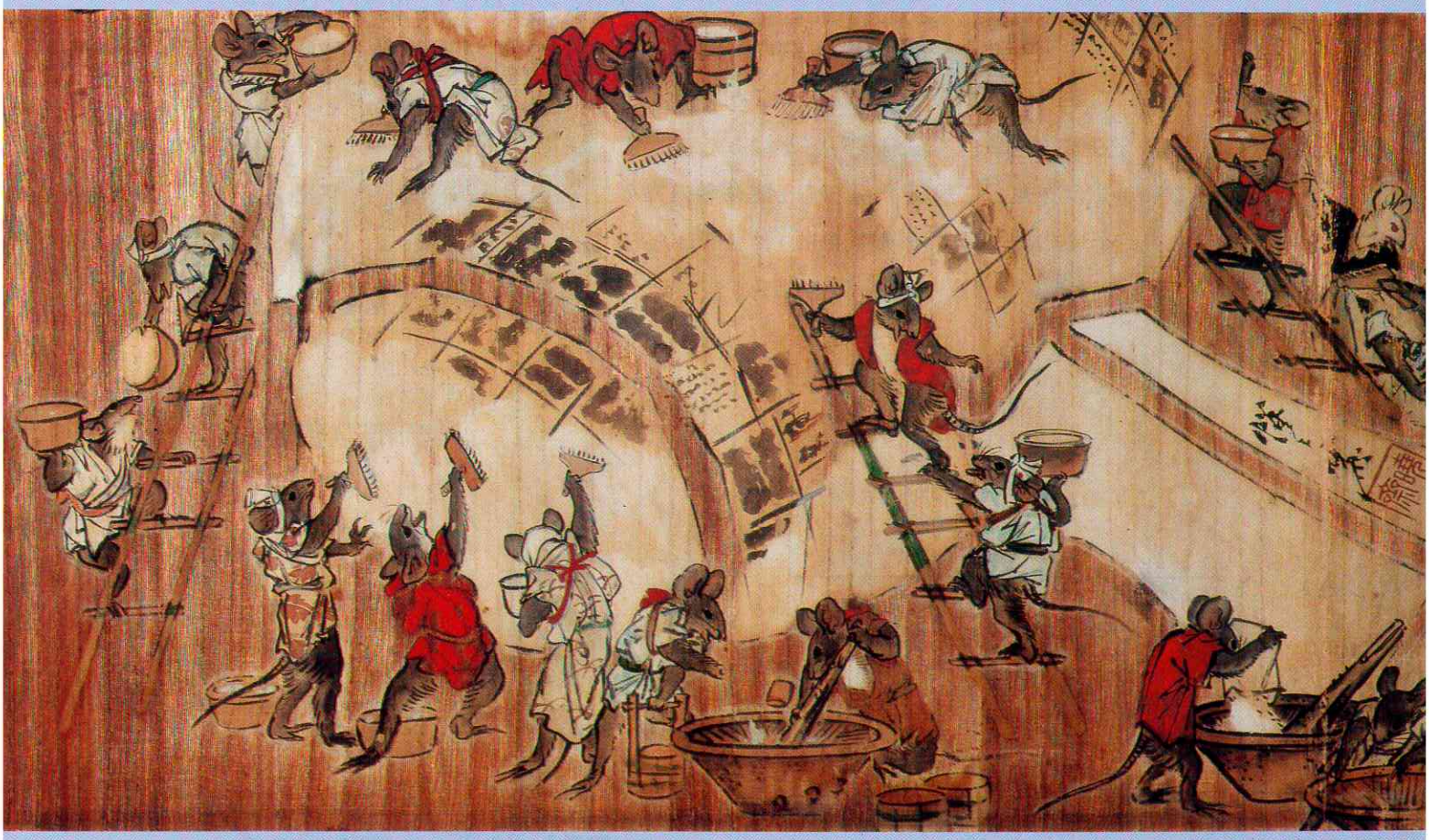
河鍋暁斎展

―― 狭山と暁斎 ――

平成９年10月4日(土)～11月3日(祝)



狭山市指定文化財(ねずみの図)(西浄寺蔵)

狭山市立博物館

〒350-13 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1
稲荷山公園(ハイドパーク)内
TEL. 0429-55-3804 FAX. 0429-55-3811

交通
西武池袋線「稲荷山公園駅」から徒歩3分
西武新宿線「狭山市駅」西口からバス(稲荷山公園駅行)終点徒歩3分

開催にあたって

幕末から明治中期にかけて、極彩色の密画から即興で描く席画までこなし、画題も仏画、山水、花鳥、 美人画のみならず、 戯画、 挿絵等、 幅広く描いた画家に「河鍋暁斎」がいます。

暁斎は、1831年（天保２）に下総国古河（茨城県古河市）で生まれ、幼名を周三郎と称しました。幼少のころより絵を好んだ彼は、７歳のときに浮世絵師歌川国芳に師事し、その後狩野派の絵師前村洞和、狩野洞白の門人となり、19歳にして修業を終え、狩野総本家より免状を授かりました。洞白陳信より「洞郁陳之」の号を与えられたのは、このときのことです。しかし彼は、ときに応じ、また作品により、「画鬼」「狂斎」「暁斎」等々と号しています。

暁斎は、東京の湯島にある真言宗の霊雲寺近くに住んでいましたが、彼がこの寺の法弟となり、僧号の「如空」を画号にしたのは1879～80年（明治12～13）ころといわれています。このころになると暁斎は、たびたび狭山地方を訪れるようになりました。それは、暁斎の門人で霊雲寺の法弟であった林法泉が、川越在柏原村の西浄寺（狭山市柏原の西浄寺）に住職として派遣されたためです。法泉を訪ねた暁斎は、そのつど付近の富農や商家を紹介され、作品を描き残したといわれています。

今回の企画展は、そうした暁斎の人と作品、そして狭山との関わりを、市域の所蔵家の方々のご協力により紹介するものです。多数の市民の皆様にご覧いただければ、誠に幸いと存じます。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、貴重な資料の出品を快くご承諾下さいました関係者の方々に心よりお礼を申し上げ、開催のごあいさつといたします。

暁斎が訪れた西浄寺

平成９年10月

狭山市立博物館

◆開館時間
午前９時～午後５時
◆休 館 日
10／6、13、20、24、27
◆入 館 料
一　般150円（100円）
高校生・大学生100円（60円）
小学生・中学生　50円（30円）
※（　）内は20名以上の団体

●西武池袋線「稲荷山公園駅」から徒歩3分
●西武新宿線「狭山市駅」西口からバス（稲荷山公園駅行）終点徒歩3分

河鍋暁斎展

―― 狭山と暁斎 ――

平成９年10月4日(土)～11月3日(祝)

狭山市指定文化財〈ねずみの図〉(西浄寺蔵)

狭山市立博物館

〒350-13 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1
稲荷山公園（ハイドパーク）内
TEL. 0429-55-3804 FAX. 0429-55-3811

交通
西武池袋線「稲荷山公園駅」から徒歩3分
西武新宿線「狭山市駅」西口からバス（稲荷山公園駅行）終点徒歩3分

開催にあたって

幕末から明治中期にかけて、極彩色の密画から即興で描く席画までこなし、画題も仏画、山水、花鳥、美人画のみならず、戯画、挿絵等、幅広く描いた画家に「河鍋暁斎」がいます。

暁斎は、1831年（天保２）に下総国古河（茨城県古河市）で生まれ、幼名を周三郎と称しました。幼少のころより絵を好んだ彼は、７歳のときに浮世絵師歌川国芳に師事し、その後狩野派の絵師前村洞和、狩野洞白の門人となり、19歳にして修業を終え、狩野総本家より免状を授かりました。洞白陳信より「洞郁陳之」の号を与えられたのは、このときのことです。しかし彼は、ときに応じ、また作品により、「画鬼」「狂斎」「暁斎」等々と号しています。

暁斎は、東京の湯島にある真言宗の霊雲寺近くに住んでいましたが、彼がこの寺の法弟となり、僧号の「如空」を画号にしたのは1879～80年（明治12～13）ころといわれています。このころになると暁斎は、たびたび狭山地方を訪れるようになりました。それは、暁斎の門人で霊雲寺の法弟であった林法泉が、高麗郡柏原村の西浄寺（狭山市柏原の西浄寺）に住職として派遣されたためです。法泉を訪ねた暁斎は、そのつど付近の富農や商家を紹介され、作品を描き残したといわれています。

今回の企画展は、そうした暁斎の人と作品、そして狭山との関わりを、市域の所蔵家の方々のご協力により紹介するものです。多数の市民の皆様にご覧いただければ、誠に幸いと存じます。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、貴重な資料の出品を快くご承諾下さいました関係者の方々に心よりお礼を申し上げ、開催のごあいさつといたします。

平成９年10月

狭山市立博物館

河鍋暁斎プロフィール

河鍋暁斎は、幕末から明治中期にかけて多彩な絵を描きつづけた画家で、1831年(天保2)４月７日、下総国古河（茨城県古河市）で生まれた。幼名を周三郎と称した彼は、幼いころより絵を好み、３歳のときに母親と出かけた旅先で、蛙の絵を写生したという。周三郎が７歳となった1837年（天保８）、浮世絵師歌川国芳の門に入って浮世絵を学んだが、しばらくするとその門を去った。その後、狩野派の絵師前村洞和に入門したが、洞和が病気になったため、その師匠である駿河台狩野派の洞白陳信に入門した。

1849年（嘉永２）、修業を終えた周三郎は、19歳にして狩野総本家より終業の免状を授か

り、師匠の洞白から「洞郁陳之」の号を与えられた。これは非常に早い出世といえるが、そこには持って生まれた天性とともに、血のにじむような修学があったものと思われる。しかし、1851年（嘉永４）に狩野洞白が死去し、続いて1853年（嘉永６）に前村洞和もこの世を去ったことにより、狩野派との縁が切れてしまった。これ以降、洞郁は下絵や挿絵を描くようになり、1858年（安政５）には社会を風刺した狂画を描きはじめ、「狂斎」と号するようになった。

神楽の図（西浄寺蔵）

1870年（明治３）、俳諧師の基角堂雨雀主催による書画会の席で描いた絵が問題視され、狂斎が投獄されるという事件が起こった。号を「暁斎」と改めたのは、この事件がきっかけであった。その後暁斎は、ウィーン万国博覧会や内国勧業博覧会などに作品を出品したり、旅に出て作画に励んだりして絵を描き続けたが、1889年（明治22）に胃病を患い、同年４月26日、門人らが見守るなか、59歳で息を引き取った。

狭山と暁斎

河鍋暁斎が、東京湯島にある真言宗の霊雲寺の法弟となり、「如空」と号するようになったのは、1879～80年（明治12～13）ころといわれている。当時の霊雲寺の住職は暁斎をかわいがり、また暁斎も住職を慕っていたという。そしてこのころになると、暁斎は狭山地方を訪れるようになった。

西浄寺

その理由は、霊雲寺から高麗郡柏原村の西浄寺（狭山市柏原の西浄寺）に、暁斎の門人でもあった法泉が住職として派遣されたためである。法泉は、飯島虚心著の『河鍋暁斎翁伝』によれば、「釈法泉は、林氏。もと霊雲寺の法弟にして、翁に就き画法を学べり、今川越在柏原村西浄寺の住職たり」とあるので、暁斎はたびたび法泉のもとを訪れたのである。そして、法泉から付近の富農や商家を紹介され、作品を描き残したといわれている。現在、西浄寺には暁斎の描いた「ねずみの図」（狭山市指定文化財）と「神楽の図」が、奉納絵馬として保存されている。

霊雲寺

展示資料一覧

分類	番号	資料名		員数	所蔵者
〈肉筆〉					
	1	神楽の図	板絵彩色	1	西淨寺蔵
	2	素戔嗚尊の図	紙本淡彩	1	個人蔵
	3	猿田彦命の図	紙本彩色	1	個人蔵
	4	日の出鶴の図	絹本彩色	1	個人蔵
	5	日の出鶴の図	紙本彩色	1	個人蔵
	6	ねずみと恵比寿大黒天の図	紙本淡彩	1	個人蔵
	7	ねずみと恵比寿大黒天の図	絹本淡彩	1	個人蔵
	8	布袋と童の図	絹本彩色	1	個人蔵
	9	唐子と狗の図	紙本淡彩	1	個人蔵
	10	仁王と観音図	絹本彩色	1	個人蔵
	11	李白観瀑図	絹本墨彩	1	個人蔵
	12	一休禅師と地獄太夫図	絹本彩色	1	個人蔵
	13	桃太郎鬼ケ島征伐図	絹本彩色	双幅	個人蔵
	14	鴉の図	絹本墨彩	1	個人蔵
	15	鳥とひまわりの図	絹本淡彩	1	個人蔵
	16	短冊	紙本彩色	1	個人蔵
	17	ねずみの図	板絵彩色	1	西淨寺蔵
	18	電灯と蛙人力車の図	紙本淡彩	1	個人蔵
	19	座頭と化け物の図	絹本淡彩	1	個人蔵
	20	奇術の図	紙本墨彩	1	個人蔵
	21	鷹と雷神の図	絹本淡彩	1	個人蔵
	22	蛙の図	絹本淡彩	1	個人蔵
〈版画〉					
	23	短冊		1	個人蔵
	24	猫とねずみの図		1	個人蔵
	25	鳥と蜂の図		1	個人蔵
	26	達磨と美女の図		1	個人蔵
	27	軍鶏とイタチの図		1	個人蔵
	28	籠に鯉と鯰の図		1	個人蔵
	29	籠に柿栗とカマキリの図		1	個人蔵
	30	江戸の華名勝絵「麹町平川天神」		2	個人蔵
	31	団扇絵		6	個人蔵
	32	上野山内一覧の図		3枚続	個人蔵
	33	戸隠神社日本神楽の図		3	個人蔵
	34	暁斎楽画		1	個人蔵
〈版本〉					
	35	『暁斎画談』		全4巻	個人蔵
	36	『暁斎画談』		全5巻	個人蔵
	37	『暁斎略画』		1	個人蔵
	38	『狂斎百図』		2	個人蔵
	39	『猩々暁斎名画集』		1	個人蔵

※展示資料一覧の番号は展示されている資料の番号に一致します。
ただし、展示順序は必ずしも番号順とは限りません。
期間中、一部展示替えを行います。